



# 旧市民球場の跡地利用 イメージ図で説明へ

来月に作成  
市長が表明

広島市の秋葉忠利市長は23日の記者会見で、旧市民球場(中区)の跡地利用計画に基づいたイメージ図や概算工事費を5月中旬に算出した後、議会や地元住民、商店街に内容を提示し、合意形成を図る考えを示した。

秋葉市長は、イメージ図について「議会には特別委員会で説明したい。市民には市のホームページ(HIP)を活用し、個別の団体や地域には直接話すことになる」と述べた。商店街に対しては、広島商工会議所を通じて理解を求めていく姿勢をみせ

た。緑地広場を中心にイベントホールなども備えた跡地利用計画を推進するため、市は旧市民球場を解体する方針である。しかし、3月の市議会定例会で球場廃止条例案が否決されており、秋葉市長は「6月(定例会への)提案を検討中。結論は出ていない」とした。



## 自転車にはねられ死亡 市中で無灯火 市職員が運転

中区で無灯火  
市職員が運転

22日午後8時40分ごろ、広島市中区羽衣町の市道の歩道で、歩いていた中区吉島町の無職三浦琴美さん(70)が、前からきた安佐南区東野3丁目、市中区役所職員坂谷薫さん(58)の自転車にはねられ、転倒した。三浦さんは頭を強く打ち、翌23日午後0時10分ごろ、搬送先の病院で死

亡した。広島中央署によると、現場の歩道は幅3・4メートル。自転車の走行も認められている。街灯もあり見通しのよい直線だった。坂谷さんが乗っていた折り畳み式自転車にはライトが装着されていないかつ

た。同署は重過失致死容疑の可能性もあるとみて調べている。県警交通企画課によると、広島市内では昨年、自転車による人身事故が計207件発生。負傷者は219人にと上った。うち夜間の事故は56件(負傷者60人)で、半数以上の30件(32人)が無灯火運転だったという。

## 平和文化センター 祇園小で講座

広島平和文化センターは23日、広島市安佐南区の祇園小で、平和学習の出張講座を開いた。来年度から本格始動を計画している学習支援事業のモデルケースとして初めて実施した。原爆資料館の前田耕一郎館長が同校の視聴覚教室に向向き、6年生約110人を対象に約1時間、原爆被害や放射線の人体影響について解説した。児童は、前田館長が持参した被爆瓦や瓶に直接触れ、原爆の熱線の影響を確かめた。

高岡巧洋君(11)は「熱で溶けた瓶にさわると、原爆は怖いと思う」と話していた。出張講座は、被爆者の高齢化に伴い、被爆証言を直接聞く機会が減った子どもたちへの学習支援策。試行段階の本年度は11月にかけて、市内の約10の小中学校を対象に実施する。講座内容は原爆被害、平和への取り組みを二本柱とし、学校の要望に応じるといふ。各校の反響などを確かめたうえで、来年度からの本格実施に向けて講座内容を練る。



前田

## 呉できょう開幕

呉市幸町の市立美術館で24日、「浮世絵美人画展」の開幕式が行われ、約300人の観客が参列した。市文化振興財団、中国新聞社主催が始まる。23日、搬入作業が終わり、開幕準備が整った。呉市幸町の市立美術館で24日、「浮世絵美人画展」の開幕式が行われ、約300人の観客が参列した。市文化振興財団、中国新聞社主催が始まる。23日、搬入作業が終わり、開幕準備が整った。

## 29日呉みなと祭

初夏の訪れを告げる恒例の呉みなと祭(呉まつり協会主催)が29日、呉市中心部の蔵本通り一帯で開かれ、パレードやステージで街を彩る。4カ所のステージでは計44団体が、ダンスや演奏を披露する。バザールコーナーには約70店が出店。地ビールや旧海軍料理、細うどんなどの飲食物、雑貨の販売もある。

パレードは午後2時に市役所前を出発。海上自衛隊呉音楽隊、本年度の「くれマリンクイーン」を先頭に、25団体の約3千人が踊りや演奏などをしながら続く。呉青年会議所は、宝町の大和ミュージアム近くでイベントを開催。公募した呉の「ゆるキャラ」の発表や特産品販売、ライブなどで盛り上げる。(山田太一)

## 笑顔心待ち



「くれマリンクイーン」から吉田さん、宮原

## 思い出新聞

中国新聞呉販売店会(前田宝田会長、20店)は、会場に「中国新聞ちゅーピーひろば」を開き、盛り上げに一役買う。市中心部の堺川にかか